

データシート

autocult

DKW GM Spezial (ドイツ, 1936)

デザイナーと小さなシリーズ

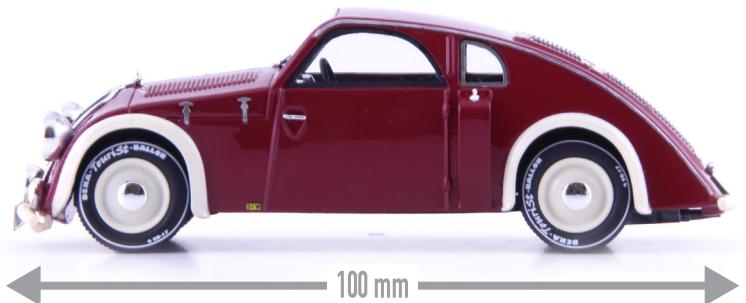
scale 1/43

#05032

available

08/2021

limited edition 333 Stck.



ホームメイドライカー

1930年代半ば、ベルリンのエンジニア ゲルハルト・メイチャーは標準的なエンジンの排気量は692ccだが、国際的なレースイベントに参加するときは常に1.5リッタークラスで始動する必要があると批判した。その不足を補うため、彼は2つエンジンを使用し少なくとも1,384ccの車をデザインした。

シャーシーについては、そのベルリンのエンジニアがDKWマスタークラスの標準的な下部構造を採用した。彼は一つ目のエンジンを前部の元の位置に残したまま、2番目のエンジンを取り付けるため後車軸のシャーシーを改良した。2番目のエンジンの取り付けは、シリンドーブロックを回転させることで実装されたため、スタークーとオルタネーターもそれに応じて改裝した。トランスミッション、ギアボックスおよびアクセラレーターケーブルによって両方のエンジンが同時に駆動できた。ゲルトハルト・メイチャーはその車の最高速度125km/hと走行距離100kmあたり12Lの燃料消費量を確保した。四輪駆動にする

ため、賢いベルリンのエンジニアは、リアアクスルをドリブンフロントアクスルにただ交換するだけよかったです。追加のリアエンジンの冷却に必要な両側のフロントドアのすぐ後ろに小さな突出した吸気口が設置された。それらは車体全体と同じく審美的に設計されていた。ゲルハルト・メイチャーは特に、最新の流線型モデルというアイデアを実現したのだ。彼は眺めの良さを重視し、アーチ型になってルーフに引き入れることができるフロントガラスを思いついた。驚いたことに、彼は当時非常に珍しい、柔軟な素材のプレキシガラスからそれを作った。

車のラジエーターグリルにあるエレガントな曲線の文字「GM」 ゲルハルト・メイチャー(Gerhardt Macher)のイニシャルは、そのデザイナーを示す唯一のマークであった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de